



令和6年度 2学期終業式を迎えて



【終業式式辞（要旨）】本日は、2学期の終業式、令和6年もういよいよ暮れようとしています。「共に創る力を磨く！大崎～心力・学力・体力の向上を目指して～」を合言葉に、2学期始業式では、「これぞ大崎中生だ！」と胸を張って示す新たな伝統を創ってほしいと話しました。そのために、1年生には、「初心に戻れ」、2年生には、「大崎中の核となれ」、3年生には、「中学校生活の答えを出せ」というメッセージを贈りましたが、振り返ってみてどうですか。様々な出来事があった2学期でしたが、私が一番印象に残っているのは、「合唱コンクール」です。3年生が1・2年生に手本を見せ、素晴らしい歌声を響かせました。感動して胸が熱くなりました。合唱コンクール当日は、全校をあげて、皆で懸命に取り組む姿勢が何より素晴らしかった。何かに向けて一緒に頑張ろうとする時は、意識が低く真面目にやらない人、わがままを出して協力をしない人、足を引っ張る人が出てくるものです。しかし、ほとんどそういう人を見かけなかった。皆が本気になっていた。これが何よりの成果です。

こうした皆さんの姿は、日頃の学校生活にも変化が見られます。毎日の授業、部活動、学校行事、そして掃除、係活動などの中で、「頑張ることが当たり前」「頑張ることが格好いい」という姿が見られるようになった。本当に、実りの多い2学期でした。一方で、改善すべき点もあります。1点目は、就寝・起床の時刻を規則正しくそろえる、毎日朝食をとるなど、毎日の生活のリズムを整えることです。これらは、心身の健康・体力向上にとって大変重要なのです。2点目は、授業やこれまで学習した内容を、家庭学習の時間を確保して復習することです。「やらされて学ぶ」のではなく、「自ら求めて学ぶ」力を身に付けてください。この力を付けるのは、まさに今、君たち中学生の時なのです。そのために、先生たちも、様々な取組や活動を実行し、指導しながら応援していきます。これら2点を進めていく上で、家庭でのスマホやゲーム等の使用ルールについて、早急に見直しが必要な人もいでしょう。やるべきことの優先順位をつけ、メリハリのある時間を過ごし、習慣化してほしい。「できるかできないかではなく、やるかやらないか」です。

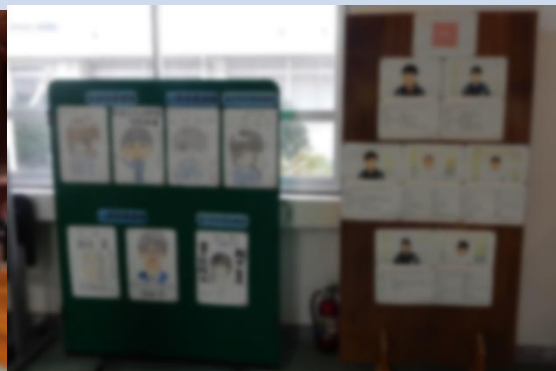
さて、いよいよ冬休みです。12月31日の大晦日も、1月1日の元日も、何も意識しなければただの1日です。しかし、昔から人々は、年が終わり、そして新たな1年を迎えるこの時期を「大きな節目」ととらえ、大切にしてきました。この機会に今年1年を振り返り、希望と決意を持って新年を迎えましょう。また、家族や親戚の方々との団らんのひとときを大いに楽しんでください。

クリスマス、お正月と世の中が浮かれる時期ですが、気の緩みから事件や事故に巻き込まれることがないように、くれぐれも「あなたの命」を大切にしてください。3年生にとっては、今までにない勝負の冬休みです。受験に向かう中学3年生の数は、全国で約100万人。悩みや不安を抱えていない受験生はいません。自分の人生を切り拓いていくために、「一意専心」（他の心に動かされず、ひたすら一つのことに心を集中すること）で取り組んでほしい。健闘を祈っています。

全員元気で、「よし今年もやるぞ！」という意気込みで、1月8日の始業式に会いましょう。皆さん、良いお年をお迎えください。

生徒会役員選挙

現生徒会執行部の皆さんの任期も1年がたとうとしています。「創造と挑戦」をスローガンに、生徒会活動をしっかりと機能させ、数々の行事や取組を成功へと導きました。今月5日は体育館にて、新たな生徒会役員を決める選挙が行われました。何より、覚悟を持って立候補した生徒、その応援演説を引き受けた生徒を頼もしく、その勇気のある行動に敬意を表したいと思います。7名の立候補者の演説は、単に「学校をより良くしたい」だけではなく、学校の課題を明確にしながら、「〇〇に取り組み、□□を目指していく」といった具体例とその対策について取り上げ、分かりやすく述べました。ステージ上で、立候補者、応援演説者一人一人が堂々とした演説を披露しました。選挙管理委員10名の皆さんの頑張りで、選挙に関する全ての計画・準備をスムーズに進めることができました。新生徒会執行部員については、次号でお知らせします。



選挙を正しく理解できるように、選挙の告示やポスターの掲示をはじめ、選挙管理委員会の活動や選挙運動、投票用紙、投票箱の活用など、実際の選挙に近い形で行いました。

人権集会

12月10日は、人権集会を実施しました。平和人権実行委員が「女性の差別」、「同和問題」、「外国人の人権」をテーマに、調べた内容についてスライドをうまく活用して発表しました。発表の中で感心したことは、それぞれのテーマに対する「解決策や自分たちにできること」を伝え、聴く人たちに、より身近なこと、自分事として捉えてもらうよう工夫をしていたことです。また、個人やペアで「生きていく上で大切な権利」について考え・話し合うワークショップでは、自分と相手の意見の違いを尊重しながら、やり取りをしていました。平和人権実行委員10名の皆さんのおかげで、学校スローガン「心力」「自他を認め、思いやりと温もりのある心を高める力」の向上につながる時間を皆で共有することができました。



ワークショップとは、「参加者が主体的に意見を出し合い、互いの考えを尊重しながら、意見や提案をまとめ上げていく場」です。

本に親しむ

「読書離れが深刻」とよく言われます。昨年、文化庁が16歳以上を対象に調査したところ、1か月に1冊も本を読まない人の割合が6割以上になる結果が出たそうです。本校の生徒には、これに該当する人はいないと信じています。生徒が本に親しむために、佐藤学校図書館司書を中心に、様々なイベントを開催したり、ボランティアの方々による読み聞かせをしたりなど、図書室へ足を運ぶきっかけづくりをしています。また、先日は、3年生の国語科で、自分のお薦めの本を紹介するブックトークを楽しい雰囲気の中で開いていました。中学生にとって、読書の力は無限大です。まずは、図書室に行き、いろいろな本を手に取り、借りてみましょう。新刊の本も随時、入荷されています。きっと、新たな世界を発見できます。



ボランティアの方による本の読み聞かせ

ペットボトルキャップを使った「しおり」づくり

2年生職場体験学習

コロナの影響を受け、ここ数年、職場体験学習を計画することが難しい状況でしたが、受け入れを快く御承諾していただいた16の各事業所の皆様の御理解・御協力のおかげで、実施することができました。2日間の体験学習でしたが、「働くこと」の喜びや苦労を実感し、そこで働く方々の姿から、たくさんのことを学ぶ機会となったと思います。生徒一人一人が今後の進路選択や将来の夢・目標立てができるよう、各学年に応じた効果的な活動を取り入れていきたいと考えています。この度は、各事業所の皆様には、温かい目で見守り、御指導いただき、誠にありがとうございました。



保護者の皆様、地域の皆様、この1年本当にお世話になりました。どうぞ、良いお年をお迎えください。そして、来年も、本校の子供たちの前進を温かく見守ってくださいますようお願い申し上げます。

令和6年度 学校スローガン: **共に創る力を磨く！大崎** ～心力・学力・体力の向上を目指して～